

# 養成所ニュース

## 専任教員の 独り言

本養成所の受講者の多くは知的障害施設関係者ですが、近年は異業種からの参入もふえています。年齢は20代から70代と幅広く、経歴も営業や販売、海外勤務、コンピューター関係、技術者、編集者など多様です。福祉参入の動機も、家族の介護や自分の病気がきっかけ、身近に障害のある人がいる、リストラにあった、機械相手になく人間相手の仕事がしたい、社会貢献をしたい、事業所を開きたいなど様々です。

コミュニケーションを大切に、傾聴するという人間関係の基本は、どこの世界でも共通するものなのでしょう。実習先ではビジネスの世界で培われたマネジメント能力や接客・接遇の態度などが、好感をもって迎えられています。現在は就職活動中、事業所開設準備中という方から、非常勤で勤め始めた方、有料老人ホーム開所時に相談員や施設長として迎えられる予定の方、なかには実習先の施設に就職が決まった方もいます。

社会福祉士資格誕生から20年、カリキュラムが見直され、現場実習は2週間から4週間に、スクーリングは少人数での「演習」となりました。「コミュニケーション技術、面接技術」を身につけ、「事例に即した実技指導によって実践力を身に

社会福祉士養成所

専任教員 中野 恵美子



つけること」が求められますが、みなさんの社会経験、人生経験はそのまま実践力として生き、スーパーパーザーとしての活動に必ず役立っていきます。

さらに20年か30年後、もう一度カリキュラムが見直される時、この国はどうなっているでしょう。国際化、高齢化がもっと進み、少子化は解消されている?…どういふ世の中になろうと、社会を良くしていこうという先人たちの歩みを引き継いでいくことを心に刻み、ソーシャルワークの価値や理念、倫理などを広く、そして深く学んでいきたいと思います。

\*\*\*\*\* 近 著 \*\*\*\*\*

(財)日本障害者リハビリテーション協会発行「ノーマライゼーション」・特集「文学に見る障害者像」に掲載  
『「座頭市物語」-ヒーローとしての造型』2009年11月号  
『見世物から俳優へ-寺山修司の俳優論』2010年7月号 (予定)

### ●通信教育 Q&A 受講生の方からよくあるお問い合わせについてお答えします。

#### Q1 引越で住所が変わったのですが?

A ●住所・氏名・勤務先に変更が生じた場合には、すみやかに住所・氏名・勤務先変更届により届出てください。  
●上記変更は本養成所ホームページの登録変更フォームより登録変更することも可能です。  
●住所を変更した場合は、上記届出とあわせて、郵便局にて転送手続きを行ってください。

#### Q2 修了証明書を請求したいのですが?

A ●国家試験の受験等、本養成所修了後に修了証明書が必要な場合は、次の2点を用意し、本養成所庶務部あてに請求してください。  
①修了証明書交付願(受講の手引・ホームページに様式添付)  
②返信用封筒(返信先を明記し、80円切手を貼付したもの)  
●交付に際して、手数料は必要ありません。そのため、返信用封筒がない場合や交付願による請求でない場合は、発行できませんので、ご注意ください。

#### Q3 レポートを郵送する際、1教科毎に1枚の封筒で郵送した方がよいのでしょうか? また、複数教科を1枚の封筒に同封してもよいのでしょうか?

A ●複数教科のレポートをまとめて送付してください。(そうしないと封筒が足りなくなります。また、費用も少なく済みます。)

### 平成22年度スクーリング日程

【第21期生】会場/東京国際フォーラム  
スクーリング②:平成22年7月24日~25日  
スクーリング③:平成22年8月28日~29日  
【第22期生】会場/東京国際フォーラム  
スクーリング①:平成22年8月20日~22日  
スクーリング②:平成23年2月26日~27日

### ●●●公開講座のお知らせ(別途参加申込必要)●●●

	9/18(土)	10/2(土)	10/16(土)
午前	公的扶助論	地域福祉論	介護概論
午後	社会福祉援助技術論①	社会福祉援助技術論②	老人福祉論

会場:日本知的障害者福祉協会会議室(JR浜松町駅徒歩5分)

### 国家試験に向けてのおすすめ図書

- 国民の福祉の動向(厚生統計協会)
- 厚生労働白書(ぎょうせい)
- 週刊福祉新聞(福祉新聞社)
- 必携・社会福祉士(筒井書房)
- 社会福祉士・受験ワークブック(中央法規)
- 社会福祉小六法(ミネルヴァ書房・中央法規)

平成22年度 購読のご案内 2010年4月号(No.639)~2011年3月号(No.650)

知的障害福祉研究 **support** さぼーと

- 毎月15日発行
- A4判 68ページ
- 1部 580円(税・送料)
- 年間購読料 6,300円(税・送料)

★当協会加入施設職員の方は5,000円で年間購読できます(1部 470円)。

お申し込みは ☎ 03-3438-0467 FAX 03-3431-1803  
当協会『さぼーと』係まで http://www.aigo.or.jp/

※養成所に対するご要望・ご意見等ございましたら、ご連絡ください。 yoseijo@aigo.or.jp

## 第22期生219名が受講スタート!

### 「第22期・新受講生を迎えて」

財団法人 日本知的障害者福祉協会 社会福祉士養成所

第22期生の皆様、社会福祉士養成所へのご入学、おめでとうございます。第22回社会福祉士国家試験を受験し、難関を突破して合格された皆さん、重ねておめでとうございます。養成所で学んだことを力にして、それぞれの場で活躍していただきたいと思います。今年、残念ながら合格を逃した方は、次回に向けて奮起されますよう、心から応援しています。

社会福祉士の資格が作られて20年たって行われたカリキュラムの見直しでは、これまでも増して実践力が求められるようになりました。現場での実践や人生経験を積んだみなさんは、すでに高い実践力をもっています。職業倫理、専門性、知識、技術を身につけてさらに飛躍していただけるよう、養成所も様々な取り組みを展開していくつもりです。皆様方には、自分の足元をしっかりと踏み固め、広い視野をもって活動する「社会福祉士」になっていただきたいと思います。

通信教育は、みなさんが仕事や家事等多忙な中での受講です。互いに励ましあって、目標に向かって、邁進されることを期待し、御健闘を心からお祈り申し上げます。



所長 中原 強

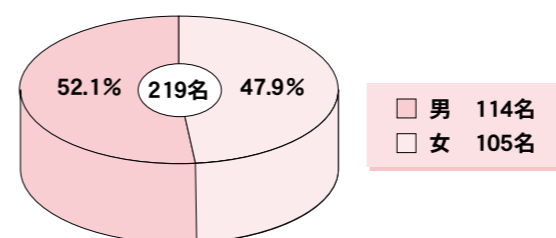
### ■第22期生の概要(平成22年4月現在)

第22期生社会福祉士養成所の受講生は、219名です。概要については下記の通りとなります。

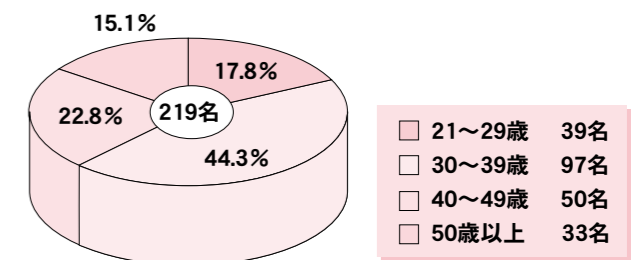
#### ●運営状況(過去3年間)

年度(期生)	応募者数	入学者数	修了者数
平成20年度(20期生)	391名	311名	295名
平成21年度(21期生)	285名	260名	
平成22年度(22期生)	240名	219名	

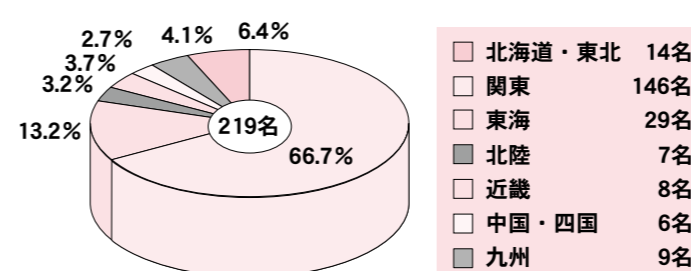
#### 受講生男女比



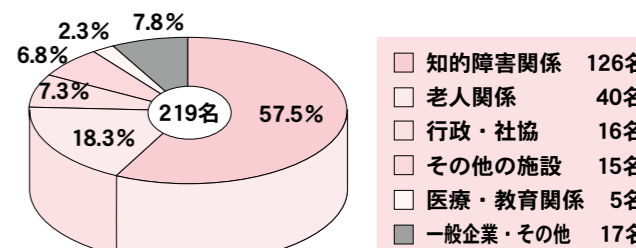
#### 年齢別分布



#### 地区別分布



#### 勤務先種別



# 第22回国家試験結果報告

第22回社会福祉士国家試験において本養成所より224名（21年度修了者133名）が合格しました。昨年度（第21回試験）は212名でした。

## これまでの国家試験の結果

	受験者数（名）	合格者数（名）	合格率（％）
第1回試験 ～ 第10回試験	52,812	14,076	26.7
第11回試験	16,206	4,774	29.5
第12回試験	19,812	5,749	29.0
第13回試験	22,962	6,074	26.5
第14回試験	28,329	8,343	29.5
第15回試験	33,452	10,501	31.4
第16回試験	37,657	10,733	28.5
第17回試験	41,044	12,241	29.8
第18回試験	43,701	12,222	28.0
第19回試験	45,022	12,345	27.4
第20回試験	45,324	13,865	30.6
第21回試験	46,099	13,436	29.1
第22回試験	43,631	11,989	27.5
合計	476,051	136,348	28.6

## ●第22回社会福祉士国家試験合格基準●（文章一部省略）

### 次の2つの条件を満たした者を合格者とする。

- (1) ア 総得点150点に対し、得点84点以上の者（総得点の60%程度を基準とし、問題の難易度で補正した。配点は1問1点である。）。
- (2) (1)のAを満たした者のうち、以下の18科目群すべてにおいて得点があった者。
- ①人体の構造と機能及び疾病 ②心理学理論と心理的支援
  - ③社会理論と社会システム ④現代社会と福祉 ⑤地域福祉の理論と方法 ⑥福祉行財政と福祉計画 ⑦社会保障 ⑧低所得者に対する支援と生活保護制度 ⑨保健医療サービス ⑩権利擁護と成年後見制度 ⑪社会調査の基礎 ⑫相談援助の基盤と専門職 ⑬相談援助の理論と方法 ⑭福祉サービスの組織と経営 ⑮高齢者に対する支援と介護保険制度 ⑯障害者に対する支援と障害者自立支援制度 ⑰児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度 ⑱就労支援サービス、更生保護制度

## ◆第23回（平成22年度）社会福祉士国家試験（予定）◆

### 1. 試験の日時及び試験科目

試験日	試験時間	試験科目
平成23年 1月30日 (日曜日)	午前10時00分 ～12時00分	①人体の構造と機能及び疾病 ⑥福祉行財政と福祉計画 ②心理学理論と心理的支援 ⑦社会保障 ③社会理論と社会システム ⑧低所得者に対する支援と生活保護制度 ④現代社会と福祉 ⑨保健医療サービス ⑤地域福祉の理論と方法 ⑩権利擁護と成年後見制度 (76問)
	午後1時30分 ～3時30分	⑪社会調査の基礎 ⑯障害者に対する支援と障害者自立支援制度 ⑫相談援助の基盤と専門職 ⑰児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度 ⑬相談援助の理論と方法 ⑱就労支援サービス ⑭福祉サービスの組織と経営 ⑲更生保護制度 ⑮高齢者に対する支援と介護保険制度 (74問)

### 2. 受験手数料

9,600円

### 3. 受験申込書の受付（提出）期間

平成22年9月9日（木曜日）から10月8日（金曜日）（消印有効）まで

※上記の最新情報、受験申込書類『受験の手引』の請求方法や『出題基準・合格基準』については、社会福祉振興・試験センターのホームページ（<http://www.sssc.or.jp/>）を参照してください。

## ◆国家試験合格者の声◆

### 永野 叙子さん

通信教育課程が始まった1年目から、国家試験受験を見据え、レポート提出にあわせて、中央法規のテキストを、1ページずつ読み解き、分からないところ、出そうなところに付箋を貼り、レポートの課題に沿って「厚生労働白書」や「国民の福祉の動向」を必要などろだけ読み進め、日本の社会福祉の現状、全体像を理解していきました。2年目の春から初夏にかけては、福祉実習や援助技術論のレポートが重なり、関連する文献を読み、資料にあたり、法令集を引くことが多くなり大変手間がかかりました。しかし、この時読んだ文献がヒントとなり、実際国家試験で機転を効かせ正解を導き出すことができ嬉しくなりました。

予定では、スクーリングにあわせて8月末までに新カリキュラム以外の科目の基礎的固めを目標にしていたのですが、制度に関わる法令がとてみに気になり2、3冊の法令集をつかって、条文や施行規則などを必ず参照しながら進めていたので、9月末までかかってしまいました。過去問題は、基礎固めの時期にも何題か解いてみましたが、本格的に解き始めたのは、10月を過ぎてからで、だぶん受験生としては遅めのスタートだと思えます。

10月以降は、国家試験まで大体3回ぐらいの模試がありますが、受験するしないにかかわらず模試の日を本番と見た上で、それに向かって学習予定を立てました。

たとえば、新カリキュラム（医療サービス、社会調査、就労支援、更生保護）対策は、中央法規の「新テキスト」がとても読みやすかったので新たに購入し、読んでは条文にあたることを繰り返しました。福祉六法以外でも六法に付随する法令、社会保障に関する法令は一通り目を通しました。

国家試験対策は『社会福祉士国家試験過去問題集（3年分収録）』編者 中央法規出版、を一問一答形式で選択肢の正誤判断する練習をしました。得点が伸びない科目は、とにかく過去問題をさかのぼり（第15回ぐらいまで）1題でも多く解き、模試を繰り返し解き直す方法をとりました。

直前の1月は体調管理に重きを置きました。知識確認の練習としては、テキストの索引を使って、1用語について3つ位のキーワードがすぐに浮かぶかどうか、確かめていきました。もう直前ですから、あまり自分を追い込まず、わからなければ、本文を見て確認すればよい、ぐらいの軽い気持ちで進めました。

やってもやっても、これで大丈夫だと確信が得られなくて、息が詰まりそうになることもありましたが、「人間は忘れる動物である」、「うまくいなくても、今までやってきたことを否定しない」この言葉を自分の支えにして、試験本番を迎えました。

### 松林 茂さん

まずは、レポートの作成とスクーリングに真剣に取り組むことが、本試験合格への土台を築くと確信します。試験勉強は、3ヶ月ぐらい前から本格的に始めました。（終盤、時間が足りなかった。）学習は、毎日の帰宅後と休みの日に取り組み、テキストと問題集を交互に行いました。

テキストは通読し内容の理解に努め、弱点であると思われる科目については、重点箇所をノートにまとめていきました。

問題集は、中央法規の社会福祉士国家試験過去問一問一答+aを、計2回行いました。間違えた問題は、解説を要約してノートに書いておきます。（例）「スモーリーは、ソーシャルワーカーの役割や課題を、重視する機能主義アプローチ。」等。自分は記憶力が弱いので、まとめノート同様に集約して書くことによって記憶しやすく、これだけやったという自信もつき、試験直前の最終確認にも役立ちました。

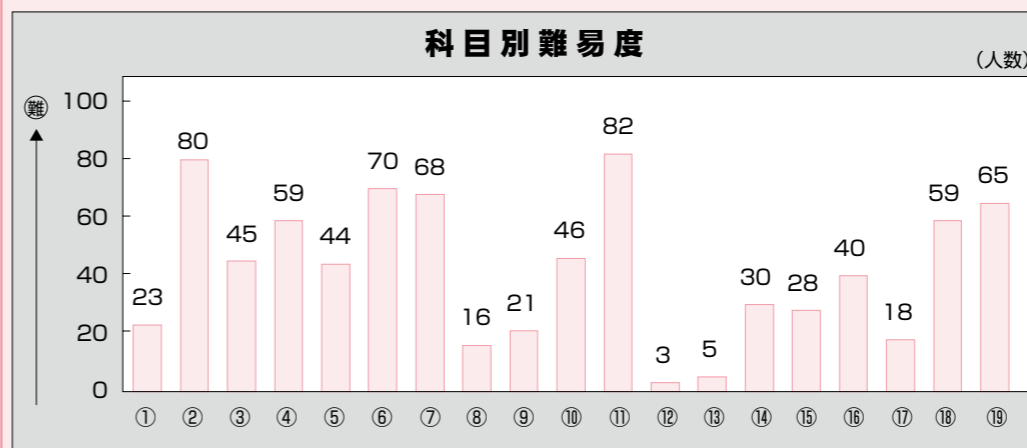
試験19科目の全体を見渡す意味では、中央法規の「見て覚える！社会福祉士国試ナビ」は、秀逸です。重要ポイントが視覚に入り、全体が把握できて確認もできます。この本に、出題の多い人名が掲載されていて、私はこれを単語カードに、「アダムス、ハルハウス創設/セツルメント運動」等と書いて、暗記しました。

模擬試験は、社養協主催のものを、受けました。総合得点は、84点で評価は○でしたが、社会調査の基礎が1/6点、心理学理論と心理的支援が、2/6点と低得点でした。しかし、これらの科目は何とかなるだろうと、勝手に思い込みあまりでこ入れせず、難しく思われた現代社会と福祉や社会保障等に力点をかけた結果、本試験でも社会調査が1/7点、心理学が2/7点と模試同様の点数しかとれず、冷や汗をかきました。（模試を侮ってはいけな、反省。）

そして試験直前に、コンテックス情報研究所編者で成美堂出版の社会福祉士完全予想模試を購入し、学習のメとしました。

仕事をしながらの受験でしたので、第21回の合格ラインの85点を目標に、気楽に持って学習しました。（合格ラインが、上がる場合があるので、要注意。）本試験の結果は、ジャスト60%の得点率で90点でした。在校生・修了生の方々のご健闘を、心よりお祈りいたします。

## 第22回国家試験に関するアンケートについて



平成21年10月に修了した第20期生295名を調査対象とし、210名（①受験をした194名、②申込をしたが当日受験しなかった9名、③申込をしなかった7名）からの回答が得られました。

図は受験者の回答をもとに難易度数（難しいと答えた人数）を示しています。

横（項目）軸の囲み数字は、試験科目の囲み数字の科目名を示しています。

※厚生労働省への報告のため、現在もアンケートは回収していますので、未提出の方は早急に提出してください。

## ◇残念ながら合格できなかった方々からの反省とコメント◇（アンケートより抜粋）

・勉強にとりかかるのが遅すぎたと思います。過去問に頼りすぎたので新しい内容や参考書も隔々まで目を通して勉強することが必要だと思いました。 ・毎日、少しずつこつこつやればよかった。一日1時間でもよい。次回はがんばります。 ・修了証が届いてから取り組んだが、仕事、家庭と両立したいへんでなかなか勉強する時間がなかった。今回試験を終えて、毎日コツコツと模擬問題を何度もやろうと思った。試験問題に似ている問題もあった。 ・試験場には、ギリギリの到着であってしまいました。次回は余裕をもって挑みたいです。

※その他のコメントについてはホームページに掲載しています。